

横浜市港南区地区センター
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事要旨

開催日時	令和6年8月14日（水） 13時30分から15時15分まで
開催場所	港南区役所6階 602号会議室
出席者	藤崎委員長、上田委員、宮田委員、吉田委員（計4名）
傍聴者	1名（議題1の面接審査まで傍聴、議題2の審議は非公開）
議題	はじめに（横浜市日野南コミュニティハウスの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、15分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <応募団体 一般社団法人こうなん区民利用施設協会> ・団体の掲げるスローガン「つどい、ふれあい、にぎわう」「地域とともに育ち、育てあう」 ・当協会が所管する10施設の管理運営で得られた業務スキル・ノウハウなどの情報共有を行い、業務改善につなげる。 ・コンプライアンス向上及び個人情報保護のため、団体全体で検討・点検する体制を構築し、会長をトップとするコンプライアンス委員会を設置し、年6回の安全管理委員会で事故防止の検討やヒヤリハット事例の共有などを行っている。 ・災害時には区役所、消防、団体本部等と連携をはかりつつ、マニュアルに沿った対策を実施する。また、緊急事態時に備えた訓練、AED操作研修など有事に備えて継続・反復的に訓練を行い、迅速、適切に対応していく。 ・地域の特性とニーズをとらえ「異世代交流の場」「子どもや高齢者を見守る場所」「子育て支援の場」「高齢者の健康づくり」「大規模災害時の補完施設としての日頃からの備え」などを念頭に『つながりづくり』を意識した施設運営に取り組む。 ・一歩先ゆくサービスをめざして、来てよかった・また利用したいと感じていただけるよう、「ホスピタリティ溢れるサービス」「快適な施設環境の提供」「魅力ある自主事業の提供」などを柱に、サービスの向上を図る。 ・生涯学習コーディネーターの資格を取得している館長を中心に、港南区民活動支援センターなどとの連携を通して、人と人・人と情報・人と資源をつなげる役割に取り組む。 ・「地域の課題」、「特性」、「ニーズ」そして「利用者ニーズ」、「行政課題」も踏まえ、参加しやすい、継続性を重視した魅力ある自主事業を企画する。 ・自主事業への参加者増による収入を増やすとともに、館オリジナルキャラクターグッズの販売など、雑収入を増やし積極的に収入の増加に努める。 ・効率化による、ムリ・ムダ・ムラのない業務運営を行い、経費削減意識を持ち、効率的・効果的な予算執行を行う。

	<p>2 審議</p> <p>横浜市日野南コミュニティハウスの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定した。</p> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの運営状況を見ても、すべての項目で平均以上の水準である。 ・全体的に問題はない。中高生を対象とした魅力的な自主事業の企画は難しいと思うが、子どもたちが集まるような企画を立ち上げてほしい。 ・職員に対する AED の研修など、緊急時の対応ができています。 ・若い世代に向けた広報の手段としてHPへの情報掲載のみでは弱い。LINE やXなど SNS の活用の幅を広げるといった提案がほしかった。 ・コミュニティハウスという特性を考えると、新たに様々な自主事業を展開している点は評価できる。 ・新規利用者を増やすための具体的な手段が見えづらい。 ・協会として多くの施設を運営しているというスケールメリットを生かして、様々な情報を共有し業務改善につなげることができている。
特記事項	<p>第1回の委員会開催後に委員長と協議の上、評価基準項目を修正しました。この修正に伴い、満点が175点から170点に、最低基準点が96点から93点に変更されました。</p>